



ラジオリンク・プラス取扱説明書



目次		
	概要及び使用上のご注意	P.2
	電池の取付方法	P.2
ラジオリンクプラス	ワイヤレスシグナルについて	P.3
(ロードセル)	ロードセルの使用方法	P.3
 手持ちディスプレイ	ボタン・アイコン説明と機能一覧	P.4
	基本操作方法	P.5
	ロードセルとのペアリング方法	P.6
	詳細設定方法	P.7
	警告アイコン・メッセージ一覧	P.8
	製品のアフターケア	P.9
	校正サービスと不具合のお問い合わせ	P.9
	製品保証	P.9





概要及び使用上のご注意

クロスビー・ストレートポイント社で製造・販売される全ての製品は、購入者及びユーザー様は安全で適切な使用方法、アフターケアについて十分に理解したうえでご利用いただくものとし、その責任はユーザー様が負うものとします。 過荷重等の誤った使用方法、不適切なアフターケア・メンテナンスにより製品に不具合が発生する場合があります。 クロスビー・ストレートポイント社の製品は最新版 ASME B30.26-2010"着脱可能な荷重表示計(ロードセル)"をはじめとする数多くの国家規格及び工業規格に適合しています。

取扱説明書、カタログ等に記載される定格値は新品又は"新品同様"と認められる製品にのみ適用される数値です。 定格荷重は通常の使用環境下で製品が耐えられる最大荷重及び負荷を指します。衝撃荷重や特殊な条件下での使用が懸念 される場合には、製品の選定の際に考慮に入れるようにしてください。

ロードセル製品の中には、吊り具等の金具と組み合わせて使用する製品もあります。他メーカーの金具を使用する場合、 該当メーカーから提供される取扱説明書等を読み、各種国家規格や工業規格と併せてよく理解したうえでご使用ください。 製品の能力は使用に伴う摩耗、誤使用、過荷重、腐食、変形、意図的な改造、経年劣化等の使用状況に影響される場合が あります。

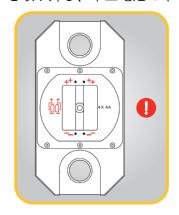
当社のロードセルは、別途記載がない限り、全て使用荷重の2倍でプルーフロード(保証荷重)試験を実施しています。

電池の取付方法

【ラジオリンクプラス】

…マイナスドライバーで裏面カバーを取り外し、単三電池4本を取り付け、カバーを再び取り付けます。



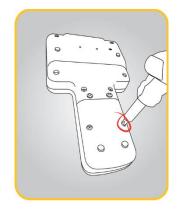




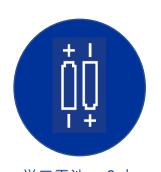
単三電池 x4本

【手持ちディスプレイ】

…プラスドライバーで裏面カバーを取り外し、単三電池2本を取り付け、カバーを再び取り付けます。







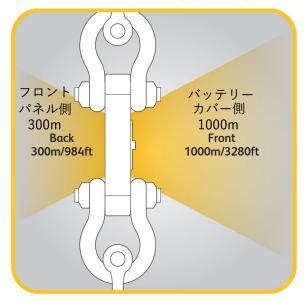
単三電池 x2本





ワイヤレスシグナルについて - ラジオリンクプラス -

ラジオリンクプラスの電波範囲は下図の通りです。





<u>使用方法</u> - ラジオリンクプラス -

推奨シャックル寸法

品番	RLP1T	RLP2T5	RLP6T5	RLP12T	RLP25T	RLP35T	RLP55T
ボルト径Φ	19mm	19mm	25mm	35mm	51mm	57mm	57mm
口幅	25mm	25mm	33.8mm	47.8mm	70mm	78.8mm	82.6mm
品番	RLP75T	RLP100T	RLP150T	RLP200T	RLP250T	RLP300T	RLP500T
ボルト径Φ	70mm	83mm	95mm	121mm	127mm	152mm	180mm
口幅	105mm	127mm	133mm	184mm	276mm	213mm	210mm

- * ロードセルに装着するシャックルは、可能な限り弊社推奨シャックルをご使用ください。上記表の寸法から大きく外れたシャックルを使用すると、計測精度に影響が出たり、本体にダメージが発生する可能性があります。
- * 使用荷重(WLL)は全てのロードセルの側面に記載されています。(例: Max: 6.5 tonne x 0.001te.) ご使用前には、作業条件が製品仕様の範囲内であることを確認のうえご使用ください。
- * 本製品のご使用時には、作業者は吊り荷から安全な距離を取り、且つ、ラジオリンクの電波放射方向及び電波 到達距離範囲内で作業してください。
- * 衝撃荷重は避けてください。また、大きなねじれ応力が製品に加わるような使用も、製品に修理不可能な損傷が発生する可能性がありますので避けてください。
- * 使用後は製品を取り外し、水気や汚れを落として保管してください(当社製キャリーケースが理想的です)。 長期間使用することがない場合には、ロードセルと手持ちディスプレイから電池を取り外して保管してください。 電池を入れたまま保管すると、液漏れが発生し製品にダメージを与える可能性があります。





ボタン・アイコン説明と機能一覧 -手持ちディスプレイ-



【ボタンの種類】…()は詳細設定時の機能

- 11電源(←)ボタン
- 2ピークホールド(介)ボタン
- ❸荷重単位(↓)ボタン
- 4風袋(⇒)ボタン

【基本アイコンの種類】



重単位(左図は t)



ピークホールド設定中



風袋引き設定中



電波強さ(1~5本)

【機能一覧】

●基本操作		
・電源 ON・OFF 設定	…電源の ON・OFF を設定します	P.5
・ピークホールド設定	…計測中での最大荷重のみが表示されます	P.5
・荷重単位変換設定	…荷重単位を t/kN/ kg/lb に変換します	P.5
・風袋引き設定	…風袋の重さを差し引いて吊り荷の正味量を表示します	P.5
・バックライト設定	…ディスプレイのバックライト ON・OFF を設定します	P.5,P.7
・個別・合計重量表示設定	…個別/合計荷重の表示切替を行います(ロードセル複数使用時)	P.5
・ロードセルとのペアリング	設定 …ロードセルを最大 4 台までペアリング設定できます	P.6
●詳細設定		
・ロードセル情報(Info)	…ロードセル本体の情報が確認できます。	P.7
・自動 OFF 設定(Auto off)	…手持ちディスプレイの電源を自動 OFF に設定します	P.7
・オーバーロード設定(Overlo	oad%) …オーバーロードとする荷重値を任意で設定します	P.7
・アラーム設定(Alarm%)	…アラーム音を鳴らす荷重値を任意で設定します	P.7
・システムゼロ設定(Clr Sys)	Zero) …表示値を強制的にゼロにする設定です	P.7





基本操作方法 −手持ちディスプレイ−

機能	操作	表示
電源 ON・OFF 設定	● ●電源長押し(5 秒)	Crosby SP know the load vEl.14
ピークホールド設定解除	②ピークホールド ②ピークホールド	7.290
荷重単位変換	③荷重単位 (t→kN→kg→lb の順に変換) ※出荷前の工場設定で変換機能の無効化も可能。 その場合、この操作を行うとビープ音が鳴ります。	→ 123450 2.097
風袋引き 設定	● ● 風袋	→ 123456 -0.000
解除	● ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ●	→ 123456 7.290
システムゼロ 設定	風袋引きをオンにした状態で●風袋(長押し)※システムゼロの解除は P.7 を参照	→ ディスプレイへの アイコン表示なし
パックライト 設定	①電源 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
個別・合計値表示 (複数台接続時)	2 ピークホールド 3 荷重単位 同時押し	→ 27.590





ラジオリンクプラスとのペアリング方法 -手持ちディスプレイ-



新品のロードセルを単体でご使用される場合、同梱の手持ちディスプレイはペアリングされた状態で工場出荷されますので下記手順は必要ありません。 (ペアリングされていない場合、左図の様に画面は空白で表示されます)

手順1、

11電源

同時押し

2ピークホールド

▼前回(又は初期)設定したペアリング解除画面が表示されます

手順2.

PAIRING Clear Current Paired LoadCells Power=Yes Tare=No

→Yes(解除する)の場合…

1電源

→No(解除しない)の場合…



4 風袋

▼ペアリング画面が表示されます(下図は何もペアリングされていない状態)

手順3.

PAIRING

1.NONE 2.NONE

3.NONE 4.NONE

→ペアリングするロードセル本体の電池を 取り外した状態から、片側2本を入れます ディスプレイ画面に該当のロードセルが 表示されるまで5秒ほど待ちます

▼ペアリング画面にペアリングされたロードセルが表示されます

手順4.

PAIRING

1.123456 2.NONE

3.NONE 4.NONE

→複数のロードセルをペアリングする場合 …手順3. を繰り返してください

→ペアリング設定を終了する場合

··· ①_+ Z_0

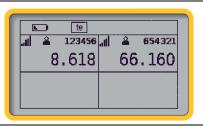
11電源

同時押し

2ピークホールド

▼荷重表示画面に戻ります

完了



※ペアリングされているのが確認出来たら、 ロードセル本体の電池が <u>4 本全て入って</u> いることを確認してください





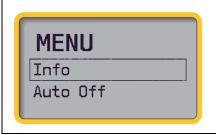
詳細設定方法 - 手持ちディスプレイ-

手順1.



手順2.

メニュー画面が表示されます。キー操作で設定項目を選択します。







❸↓下へ移動



€決定

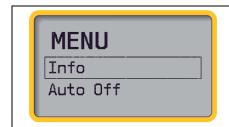
手順3.

lacktriangleright各詳細編集画面が表示されます ▼▼

メニュー	画面	機能	操作
ロードセル情報 (Info)	PAIRED LOAD CELLS 222222 333333 v01.10	接続されているロードセルのシリアル番号およびファームウェア情報を確認できます。	なし
自動電源オフ (Auto off)	EDIT Auto Off: 20	ハンドヘルドの自動電源オフ時間(分)を 0~40 分で 設定できます。但し設定値を 0 にした場合は自動オフが適用されません。	数値を増やす または
オーパーロード (Overload%)	EDIT Overload%: 0	オーバーロード表示の閾値を使用荷重の 0~110%で設定できます。但し設定値を 0 にすると使用荷重101%が過荷重となります。表示値が閾値に達すると数値の代わりに"OVERLOAD"と表示されます。	Yes/No 選択 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②
アラーム (Alarm%)	EDIT Alarm%: 0	アラームの閾値を使用荷重の 0~110%で設定できます。但し設定値を 0 に設定した場合は、使用荷重でアラームが鳴ります(=100%)。表示値が閾値に達するとアラームが鳴ります。	または Yes/No 選択
パックライトオフ (BkLghtOff)	EDIT [BkLght0ff: 1]	ハンドヘルドのバックライトの自動オフ(分)を 0~40 分で設定します。設定値が 0 の場合はバック ライトがオフになります。	数値を決定または
システムゼロ 解除 (Clr Sys Zero)	EDIT Clr Sys Zero: No Value 0.000	システムゼロ(P.5)の値(Value)を確認し、Yes を選択すると設定を解除できます。システムゼロを解除すると、値は表示されなくなります。	Yes/No 決定 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

手順4.

▼詳細設定メニュー画面に戻ります



- →詳細設定を続ける場合
 - …手順2~3を繰り返し
- →詳細設定を終了する場合







警告アイコン・メッセージ一覧 -手持ちディスプレイ-

【警告アイコン】



*オーバーロード(過荷重)発生



使用荷重(WLL)の 110%を超える荷重をロードセルが記録したことを表します。 一度オーバーロードを記録すると、荷重を取り除いてもこのアイコンは画面上 に表示され続け、ユーザー様で解除することが出来ません。



ロードセルが故障してる可能性がありますので、販売店またはメ ーカーに製品の点検を依頼してください。



* 電池残量の低下

ロードセル又は手持ちディスプレイの電池残量が僅かであることを表します。 新しい電池に交換してください。



* 再校正期日の通知

ロードセルの再校正期限が近づいていることを表します。 使用前に校正有効期限を確認しサービス代行店に再校正を依頼してください。





再校正期限の1カ月前から、手持ちディスプレイの電源を入れると 画面に左図の警告メッセージが表示されます。販売店またはメーカ ーに製品の再校正を依頼してください。



*アラーム値の到達

読取値がアラーム機能(P.7)で設定した閾値に到達したことを表します。 読取値が閾値を下回るとアラーム音とともにこのアイコン表示も消えます。

【警告メッセージ】

LC error	*ロードセルエラー	機能上の不具合が発生しています。 販売店またはメーカーまでお問い合わせください。	
No RF	*電波なし/不安定	ロードセルが無線電波の範囲外にあるか別の無線機器 の干渉を受けています。位置を移動してください。	
0.0/No RF	*読み取り不能	上記と同様です。	
Overload	*オーバーロード(過荷重) ロードセルに過荷重が掛かっています。		





製品のアフターケア

本製品は防塵・防水基準 IP67(NEMA6)に適合しております。溶剤の製品への影響は保証しかねますので、ご使用はお控えください。低温な場所から高温の場所への移動といった、製品に対する大きな温度変化が伴う場合、ご使用は 20~30分ほど間隔を空けてから実施してください。温度変化は計測精度に影響を与える可能性があります。本製品の使用温度範囲は-10~50°Cです。

手持ちディスプレイに"OVERLOAD"(オーバーロード)と表示された場合、速やかに計測を中断し本製品に掛かる荷重を取り除いて下さい。また計測値がロードセルの使用荷重(WLL)以下であることを確認してください。"OVERLOAD"の表示が画面から消えない場合は、販売店までお問い合わせください。

校正サービスと不具合のお問い合わせ

本製品には校正証明書が発行され、有効期限は1年間です。

有効期限を過ぎた製品はクロスビー・ストレートポイント社又は認定校正サービス業者による再校正を推奨します。万が一製品に不具合が発生した場合、電池を新しいものに交換し不具合が解消されるかどうか確認してください。不具合が解消されない場合は販売店にお問い合わせください。お問い合わせの際には、不具合の詳細及び製品の使用状況をお教えください。

製品保証

メーカーは、製品が取扱説明書に記載されている内容通りに使用されているという条件を満たす場合において、本製品の故障に対し1年間の製品保証を行います。

- 1) 各製品の校正作業には万全を期しますが、本製品の計測誤差に対してメーカーは責任を負うものではありません。
- 2) 製品が故障した場合、取扱説明書裏面に記載してあります最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 3) 製品の故障が誤使用によるものと判断された場合、製品保証は無効とし、その修理費は有償となります。





■ お問い合わせ先



本 社 〒650-0046 〒104-0052 東 支 店 京 名 古 屋 支 店 ₹455-0801 神 戸 支 店 〒650-0046 支 店 福 畄 〒816-0912 札 幌 業 所 〒003-0871 営 営 業 所 〒984-0012 仙 台 北 関 東 営 業 所 〒370-0854

マーテック株式会社

神戸市中央区港島中町 5-1-1 東京都中央区月島1-27-9第4いちかわビル 名古屋市港区小碓2-126 神戸市中央区港島中町5-1-1 福岡県大野城市御笠川2-16-18 札幌市白石区米里1条2-14-12 仙台市若林区六丁の目中町30-24 群馬県高崎市下之城町532-4

info@martec.co.jp

www.martec.co.jp

TEL. 078-302-0460 / FAX 078-302-1404
TEL. 03-5546-1232 / FAX 03-5546-1238
TEL. 052-389-5300 / FAX 052-389-5301
TEL. 078-302-2370 / FAX 078-302-0446
TEL. 092-513-3061 / FAX 092-513-3062
TEL. 011-872-7161 / FAX 011-872-7170
TEL. 022-287-3140 / FAX 022-287-3144
TEL. 027-367-4611 / FAX 027-367-4615